

昭和三十六年度

学生段別に優勝した頃

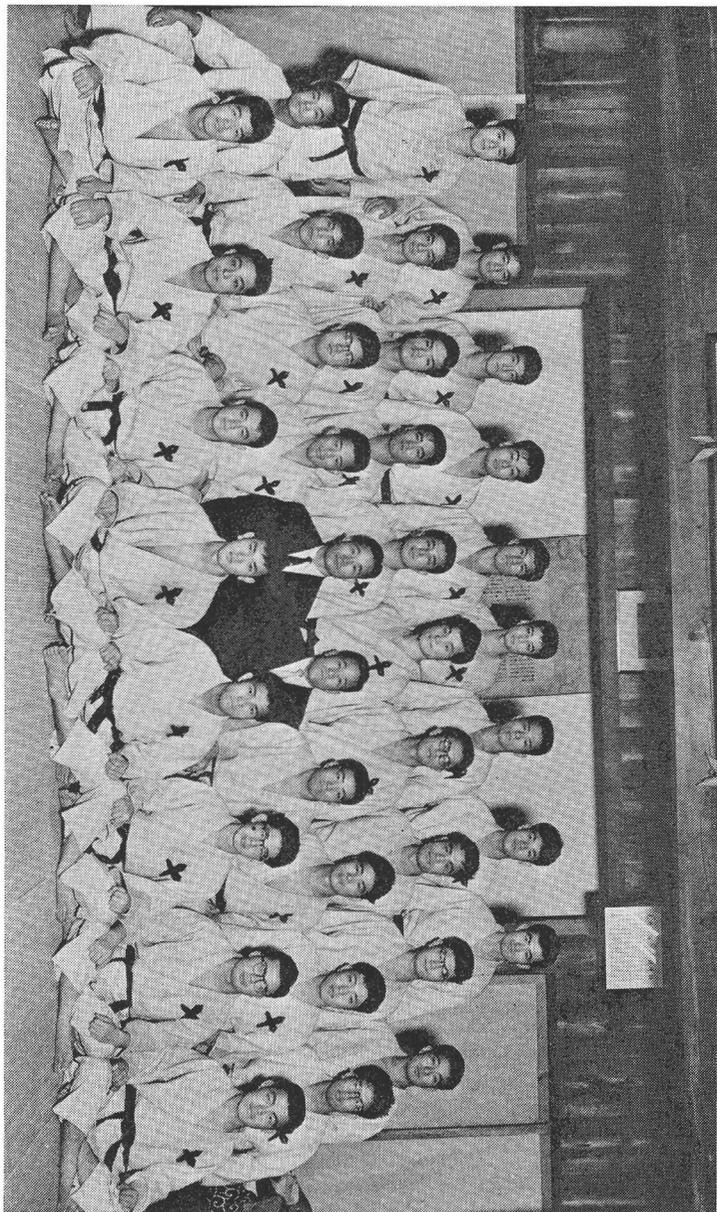
福山 浩 洋

此の度の部史編纂にあたり第十回東京、関東学生段別選手権大会、四段の部に於ける優勝について執筆する事になり往時を回顧し想いつく儘書き綴って見る事にしました。

当時は前年度の早慶戦に苦敗を喫した丈に部員一同新幹事の下捲土重来を期して刻苦精進の最中であり、本大会も恰度向う一年間の試金石として恰好の機会に四段の部の代表として阿部智応君と二人が選出された。過去当大会で幾多の代表選手が好成績を収めており、小生としても入部以来満足した戦績も挙げ得ない儘で有ったので本大会丈は是非優勝を獲得をしたい一念で有った。

試合は四月二十三日午前十時講道館に於いて開催され、当日は勝運にも恵まれ悪戦苦闘の末優勝したが、今日考えて見るに僥倖の何物でもない。第一戦、不戦勝、第二戦は日体大主将の坂梨選手で日体大とは平素、交換稽古や練習試合等で相手を知り尽くしており開始まもなく左釣込腰で一本勝ち。

第三戦は早大の安本選手で体軀は小兵に属し俊敏且つ軽快な体捌きから繰り出す内股、体落、足技等は目を見張るものが有り一進一退する中で左釣込腰の技有りが決り優勢勝ち。第四戦（準決勝）の対戦相手は中大の松尾選手、大外刈、巻込み、寝技等多彩な技を駆使する柔軟な好選手であった。



昭和三十六年卒業記念

偶々此の一戦は清水先生が審判を為されておられ仕掛けた技が有効技ではと度々先生の顔色を試合中に窺う悪癖に、その都度一本勝ちで決着をつけろといわんばかりに敵しい形相をされていた様子が昨日のことに想い浮かべられる。非力の為焦せれば焦せる程、決定技に乏しく二回の延長の末釣込腰で優勢をとり決勝進出を果す、全く苦戦を強いられた一戦で有った。

愈々決勝戦、対戦相手は明大の試合巧者である佐藤治選手、小生にとってはどちらかと云えば相性の良い筈の相手であったが、過去段別選手権三段の部で不覚にも僅差で惜敗した体験が有り、此の一戦は雪辱の好機会と執拗な迄勝負に拘泥した。

双方必死の攻防の中、乾坤一擲の左釣込腰で技有りをとり優勢で勝ち名乗りを挙げ漸くにして一矢を報い優勝を遂げる。

これも一重に諸先生や諸先輩、同朋等の暖い御指導、御声援の賜と感謝致している次第です。

本大会を振り願えり見るに全試合を通じ華々しさもなく試合内容も決して満足出来得るものではなかったが勝負に對する執着度という点では久振りに小兵で有った高校時代の勝負慾を再現した試合であった。

全日本柔道選手権大会出場記

植村 剛太郎

昭和三十六年度の全日本柔道選手権の東京代表を決定する東京都選手権大会は、同年四月九日講道館にて四段以上の六十四選手が参加して開催された。当時大学三年であった私は、前年の秋に四段に昇段していたため、初めてこの

大会に参加する機会を得た。参加選手は流石に粒揃いで、私の相手も難敵が多く、特に当時の中大主将で極端な左構えから足技を繰り出す大内四段、警視庁助教で寝技の名手木村五段との試合が強く印象に残っている。苦戦の連続の末、準々決勝に進出したが、ここで早大OBの奥村五段の左内股に見事に一本をとられ、同じく準々決勝で敗退した東洋大相馬四段と敗者復活戦で全日本出場権をかけて争うこととなった。相馬四段は左の内股、大外刈を得意とするどちらかというところ、力で押すタイプの選手であったが以前の講道館での各大学との合同稽古の際、数回稽古をしたこともあり、慌てなければ絶対に負ける相手ではないと考えていたのでじっくり構えることにした。相馬四段はこれまでの試合でスタミナを消耗してしまったためか、技に切れがなく、結局私が試合時間の中頃にかけて左大内刈で技をとって後半これを守って逃げ切り宿願の全日本選手権への出場権を得ることが出来た。試合終了後清水先生から道場の隅に呼ばれ翌日から四月二十九・三十日の全日本選手権迄の間毎朝警視庁の道場へ稽古へ行くよう指示を受けた。当時の警視庁の道場は現在の武道館の場所であり、警察関係の師範並びに助教の方々が数多く集り密度の濃い稽古が行なわれており学生も日大、拓大等一流選手が数多く参加していた。私も自発的に参加を申し出た同輩の阿部や弟の健次郎と共に毎朝二時間の稽古に参加した。この稽古の後三田綱町の道場に戻り、ここで昼寝をして時間をつぶし午後四時から六時迄学校の稽古を行なうという柔道一筋の毎日が数週間続いた。

この年の全日本柔道選手権は二十九・三十の両日東京都体育館で行なわれたが、参加選手は神永、猪熊等指定選手十六人に地区代表三十二人の計四十八人で第一日は三人のリーグ戦により十六人が残り第二日はトーナメントにより優勝が争われる形式がとられていた。参加選手は会社員十七人、学生十五人、警察官九人その他教員等七人で全般的には従来に比べ若返りを見せた年であった。全日本選手権の二週間前に試合の組み合せの発表があり、私のリーグ戦の対戦相手は指定選手の京都府警の小田五段と九州代表の明大OB甲斐五段ということが決っていた。試合前の

準備としては自分なりに質量共に満足の行く稽古が行えたとは思っていたが、選手権が近づくに従い何とも云えない重圧感に襲われ、これが試合前夜には頂点に達したことを思い出す。

試合当日のリーグ戦の第一戦は私が甲斐五段と戦ったが極め手がないまま引分となった。第二戦は小田五段と甲斐五段の間で争われたがこれも引分となり翌日の決勝トーナメント出場権は第三戦の私と小田五段との試合結果により決定されることとなった。小田五段は身長百九十三センチメートルを超える長身選手で右の奥襟を掴み大外刈、内股を得意としており、私の最も苦手とするタイプの選手であった。案の定試合開始後間もなくかけた小田五段の内股を何となく足を入れさせたまま頑張っていた処最後に長身を浴せかけられ一本をとられてしまった。かくして小田五段の前に私の決勝トーナメント進出の望は絶たれてしまった。

しかし十五年前の当時を思い起す度に毎朝同輩の阿部や弟の健次郎達と励まし合いながら重苦しい気持で警視庁の道場の門をくぐったことや、全日本選手権直前の何ともいえない緊張感が今となっては快いものとして胸を熱くするのである。

進級月次試合

八・九級の部

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	8	7	6	5	4	3	2	1
稲	○	○	山	古	○	増	野	山	増	○	岸	植	山	○	○	○	○
田	田	田	本	沢	○	保	島	田	保	人	勇	草	本	○	○	○	○
			新	隆	良	章	豊	文	憲	見	二	彰	本	本	本	本	敏
							一郎	治	一	亨							夫

大内刈	大内刈	合技	引分	内股	大外返	引分	引分	引分	引分	大腰	合技	引分	優勢	大内刈	体落	体落	大内刈
-----	-----	----	----	----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	-----

○	遠	渡	牧	和	○	山	渡	古	増	野	山	竹	○	岸	植	小	松	本	熊
藤	乙	弘	原	田	○	本	辺	沢	保	島	田	内	人	見	草	林	島	多	谷
彦	彦	二	伸	新	隆	和	男	章	良	豊	文	明	亨	勇	彰	寛	博	久	喜
			一郎							一郎	治	彦	亨	二	彰	寛	博	文	隆

一月二十日 於 綱町道場

乙・丙組の部

11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	
○	香	松	松	福	三	福	福	勝	勝	岡	辻	岡	田	吉	森	森	森	藤	松	古	古	石
川	井	井	田	枝	井	井	又	又	松	岡	岡	田	田	森	森	野	葉	葉	屋	屋	川	藤
正	高	高	靖	和	勝	也	誠	一	宏	高	真	人	真	秀	賢	次	直	敏	敏	郎	乙	彦
典	陽	陽																				

体落	大外刈	送足	横方	優勢	引分	縦方	引分	逆十字	大内返	大外刈	袈裟固	引分	合技	合技	大外落	引分	優勢	背負投	大内刈	引分	引分
----	-----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	----	----	----	-----	----	----	-----	-----	----	----

木	香	大	松	福	三	小	福	土	勝	岡	○	山	吉	加	堀	○	藤	星	○	佐	古	石
曾	川	沢	井	田	枝	野	井	佐	又	松	山	本	田	藤	越	森	野	葉	松	々	屋	川
照	正	英	高	靖	和	八	勝	邦	誠	一	本	本	真	真	秀	野	賢	光	直	敏	敏	彬
夫	典	昭	陽	裕	和	郎	也	夫	一	宏	慧	人	陽	昶	雄	次	一	彦	進	郎	彬	

体育会功労賞選手章受賞者（〇印功労賞）

○高田幸人、○南 健雄、○新原武文、○佐藤 紘、
 ○広瀬嘉嗣、○清水英範、○山口慎吉、○田村泰男、渡
 辺東洋、齊秀一郎、押切忠義、福原一雄、寺田縉太郎、
 早川鉄三、上原惟道、太田桂吉、山口 滋、鈴木孝雄、
 津隈良平、今城 伝、渡辺雅和、古橋銃治、原田 進、
 川崎康幸、伊丹正太郎、中村重之、宇津木繁、山中昭
 彦、安西康貞、西松克朗、野田嘉定、渡辺久之、曾根
 功、石塚彰克、金成弘之、高橋義昭

春季新入部員歓迎合宿

三月二十五日より十日間の恒例による新入生歓迎合宿
 を三田綱町道場にて行う。例年の通り東北学院大学が、
 合宿参加され、総勢一〇〇名に少し切れる人数である。

本塾对東北学院大学对抗試合

四月三日 於 綱町道場

本 塾 4 — 0 東北学院

先鋒 大石陸平 引分 先鋒 扇
 山口和彦 引分 加藤
 関根隆範 引分 菊地
 〇森田浩典 足弘 石川

○友田義軸 合技 高橋

田村純三 引分 熱海

○榊原孝至 合技 熊谷

大将 ○新宮松比呂 合技 大将 佐々木

本 塾 3 — 3 東北学院

先鋒 長戸和夫 合技 先鋒 扇

○峰岸保夫 外大刈 加藤

永田武二郎 引分 菊地

高橋彦二郎 引分 石川

○永岡秀昭 背負 高橋

堀 為義 合技 熱海

林 伸良 横四方 熊谷

大将 ○音川和三 大外刈 大将 佐々木

東京都柔道選手権大会（全日本柔道
 選手権大会予選）

四月九日 於 講道館

一回戦

福山浩洋(4) 判定 ○佐藤栄吾(明大)

○植村剛太郎(4) 判定 大内賢一(中大)

二回戦

○植村剛太郎 不戦 大和(拓大)

三回戦

○植村 剛太郎 優勢 木村(練馬警察)

四回戦

植村 剛太郎 内股 ○奥村(早大)

代表決定戦

○植村 剛太郎 優勢 相馬(東洋大)

この結果、植村剛太郎四段は、全日本選手権に出場する事になった。

全日本柔道選手権大会

四月二十九日 於 都体育館

リーグ第一回戦

植村 剛太郎 引分 甲斐 福男(5)

リーグ第二回戦

植村 剛太郎 内股 ○小田 雄三(5)

植村は、よく戦ったがリーグ戦で敗退した。

尚決勝は、神永五段と猪熊五段の決戦となり、神永がおさえこみで勝ち見事優勝を飾った。

第十回東京関東学生柔道段別選手権大会

四月二十三日 於 講道館

初段之部

一回戦

○加藤 隆哉 袈裟固 齋伊(東理大)

二回戦

山本 茂雄 大外刈 ○伊藤(日大)

三回戦

○加藤 隆哉 不戦 川瀬(芝工大)

二段之部

加藤 隆哉 優勢 ○阿川(東教大)

一回戦

○宮本 定義 優勢 朝蔭(東工大)

二回戦

○野口 和志 不戦 山内(都立大)

三回戦

○野口 和志 内股 ○長谷川(千葉工大)
須藤(横浜立大)

三段之部

野口 和志 内股 ○池田(明大)

一回戦

爪 生長志 内股 ○池上(日体大)

四段之部

小林 浩一 引分 沢地(拓大)

引分により両者失格

一回戦

阿部智応

判定

○込山(法大)

二回戦

○福山浩洋

釣込腰

坂梨(日体大)

三回戦

○福山浩洋

優勢

安本(早大)

四回戦

○福山浩洋

優勢

松尾(中大)

決勝戦

○福山浩洋

優勢

佐藤(明大)

福山浩洋は実力を發揮し優勝した。

春季大会

於 網町道場

紅

先鋒○山本

背負投

先鋒

牧原

山本

足弘

○松井

門田

足弘

○松井

古谷

大外刈

○松井

○藤田

背負投

松井

○藤田

背負投

山本(隆)

○藤田

大外刈

齋藤

藤田

引分

森

白

○田中

○田中

田中

金原

大滝

大滝

佐々木

○関

○関

○関

木曾

木曾

吉開

山斜

岩崎

松井

須藤

杉谷

辻村

藤江

大上

○金丸

合技

原口

支釣込足

竹本

大外刈

○竹本

大外刈

○竹本

小外掛

○竹本

小外掛

○竹本

合技

○竹本

引分

奈良間

引分

櫛田

合技

○櫛田

体落

○櫛田

袈裟固

小林

優勢

○小林

合技

○青山

体落

○岡松

合技

○岡松

引分

太田

返技

永井

引分

大沢

引分

加藤

優勢

土佐林

優勢

山本

○井上雅行(2)	先鋒 土屋康欣司(初)	大將 山本茂雄(初)	○森田總典(初)	○片岡滋(初)	○三宅尚典(初)	○滝沢勝博(初)	辻(初)	○田中(初)	○仙石通泰(初)	○林田(初)	荒川	永岡	○永岡丸	金丸				
体落	優勢	弘腰	引分	内股	優勢	合技	返技	大内刈	釣込腰	引分	引分	内股	引分	引分				
片桐	○片桐正路(初)	○片桐白	大將 加藤隆哉(初)	○梅沢潤(初)	○森	○森	○森	大島拓太郎(初)	山岸治(初)	草場賢雄(初)	石井邦博(初)	森久(初)	望月(初)	望月(初)	望月(初)	太田	広田	玉伊

大石陸平(2)	小寺基之(2)	宮本定義(2)	梅田弘(2)	中野	○中野根一郎(2)	小松郁彦(2)	大久保一清(2)	○大久保	栃本紀男(2)	○栃本紀陽(2)	安藤洋志(2)	山越三郎(2)	長谷川雄一(2)	○長谷川	河島	笠原	○笠原章靖(2)	○笠原	戸松	○戸松	井上	
引分	上四方	引分	内股	送襟絞	大内返	引分	上四方	大内刈	体落	小外刈	引分	優勢	優勢	引分	一本背負	引分	背負投	袈裟固	大内返	引分	弘卷込	内股
高橋彦一郎(2)	○高峰岸保夫(2)	○高峰岸和志(2)	○野口保志(2)	齋藤良平(2)	○齋藤	鈴木木忠和(2)	○鈴木木正敬(2)	清水正敬(2)	辰野	○辰野	○辰野	古谷幸己(2)	田北坦(2)	保谷	○保谷	川上隆三(2)	山田精一(2)	山崎信一(2)	山本茂雄(初)	○山本茂雄(初)	山本茂雄(初)	山本茂雄(初)

大将	福山浩洋(4)	木村寛(3)	○榑原孝至(3)	○榑原義輔(3)	友田川和(3)	音川松比呂(3)	○新宮進(3)	加藤進(3)	永岡秀昭(3)	○永岡正昭(3)	塚田伸良(3)	林戸和夫(3)	○長原美孝(3)	三原国之(3)	○三熊美孝(3)	大熊国之(3)	永田武二郎(2)	○山口和彦(2)				
	引分	引分	引分	優勢	合技	合技	逆技	優勢	優勢	引分	引分	背負投	優勢	引分	体落	大外刈	合技	体落	引分	引分	勢優	引分
大将	植村剛太郎(4)	阿部智応(4)	植村健次郎(4)	爪生長志(3)	小林浩一(3)	○町田勝己(3)	○町田典典(3)	森田浩典(3)	熊谷正志(3)	関根隆範(3)	古森義久(3)	○古藤進(3)	佐藤	岩沢伸(3)	○岩沢潤(3)	杉浦樹(2)	八木春久(2)	山田久哉(2)	堤久哉(2)	松吉省三(2)		

第九回関東高校柔道大会神奈川県予選(日吉高校)

五月二十一日 於 厚木高校

塾からA・B両チームが出場した。Aチームは準決勝戦で日大藤沢と対戦し、2-2の同点となって代表決勝戦を行った森田が相手の道衣にさわらないうちに投げられ不用意な敗れ方をした。しかし、代表決定戦では、逗子開成を退けて漸く代表となった。

Aチーム成績

一回戦	日吉高	4	0	鎌倉学園
二回戦	日吉高	5	0	三浦水産
三回戦	日吉高	4	1	平塚高校
準決勝	日吉高	2	2	日大藤沢

代表戦で負け

代表決定戦

日吉高	2	0	逗子開成
-----	---	---	------

出場選手

片桐正路、辻、井上雅行、森田総典、永岡、滝沢緑

郎

Bチーム成績

一回戦	日吉高	4	0	江南高校
二回戦	日吉高	3	2	横須賀工高

三回戦 日吉高 1 — 2 鶴見高校
 出場選手

山中、沢地憲一、竹本真次、望月克己、堀信孝、金杉浩

第十回関東学生柔道優勝大会

五月二十八日 於 早大記念堂

全日本学生の出場権をかけて、今年は厳しい組合せとなり、第三回戦で法政大学とあたる事となった。今年の法政は、なかなかの強力メンバーで、一寸した油断もならない相手で、事実試合は代表戦にもつれこみ5回目の代表戦で植村(剛)がからも優勢で大島を敗り全日本出場を決めた。準々決勝では、法政での疲れが出たのか完敗した。

第二回戦

本 塾 7 — 0 亜細亜大学

先鋒○首川和三(3) 大外刈 先鋒 小湊
 ○阿部智応(3) 大内刈 本堂
 ○爪生長志(3) 釣込腰 野口
 中堅○植村健次郎(3) 大内刈 中堅 石井
 ○木村寛(3) 大外刈 加島

第三回戦

本 塾 1 — 1 法政大学

先鋒○植村健次郎(3) 大内返 先鋒 角屋(3)
 爪生長志(3) 引分 中島(3)
 小林浩一(3) 引分 大島(宏)(4)
 中堅 福山浩洋(4) 引分 中堅 込山(4)
 植村剛太郎(4) 引分 笠原(3)
 木村寛(3) 引分 青井(3)
 大將 阿部智応(3) 内股 大將○大島(浩)(4)

代表戦

植村剛太郎 引分 込山
 福山浩洋 引分 大島(浩)
 植村剛太郎 引分 込山
 福山浩洋 引分 大島(宏)
 ○植村剛太郎 優勢 大島(浩)

第四回戦

本 塾 0 — 5 明治大学

先鋒 植村健次郎 優勢 先鋒○朝田(4)
 友田義軸(3) 体落 ○関(4)

中堅 植村 剛太郎 引分 中堅 高田(4)
 福山 浩洋 引分 神永(3)
 木村 寛 大内刈 ○佐藤(4)
 大将 阿部 智応 岩石落 大将 ○田中(4)

第十回全日本学生柔道優勝大会

六月十八日 於 都体育館

第一回戦不戦勝

第二回戦

本塾 5 — 1 北海道大学

先鋒 ○植村 健次郎(3) 大内刈 先鋒 中島
 ○友田 義軸(3) 足弘 伊藤
 小林 浩一(3) 引分 豊沢
 中堅 ○阿部 智応(3) 優勢 中堅 小原
 爪生 長志(3) 背負投 ○高村
 ○植村 剛太郎(4) 支釣込足 田中
 大将 ○福山 浩洋(4) 優勢 大将 広田

本塾 1 — 2 明治大学

先鋒 爪生 長志 引分 先鋒 朝田(4)
 ○植村 健次郎 支釣込足 神屋(4)

中堅 木村 寛(3) 釣込腰 ○関(4)
 音川 和三(3) 大外刈 中堅 ○佐藤(4)
 阿部 智応 引分 高田(4)
 植村 剛太郎 引分 神永(3)
 大将 福山 浩洋 引分 大将 田中(4)

第三回戦で明治と対戦した塾は、植村(健)が先取点を奪つ戦がそれを守り切れずに明治に惜敗した。

本塾対警察連合軍対抗試合

六月九日 於 綱町道場

本塾 4 — 8 警察連合

先鋒 永岡 秀昭(3) 合技 ○川田(2)
 熊谷 正志(3) 横四方 ○倉野(2)
 ○林 伸良(3) 背負投 広林(3)
 町田 勝己(3) 合技 ○松岡(3)
 ○森田 浩典(3) 大外刈 中村(3)
 爪生 長志(3) 引分 高橋(3)
 新宮 松比呂(3) 合技 ○遠藤(3)
 音川 和三(3) 引分 福田(4)
 ○榊原 孝至(3) 優勢 優勢 森岡(4)
 木村 寛(3) 上四方 ○渡辺(4)

植村 健次郎(4) 移腰 ○松尾(4)
 阿部 智 応(4) 紋 技 ○佐藤(4)
 植村 剛太郎(4) 優勢 ○草間(4)
 大将 ○福山 浩 洋(4) 釣込腰 岡本(4)

第九回関東高校柔道大会(日吉高校)

六月十一日 於 講道館

関東大会に出場した本塾高校は、予選リーグで作新学院を退けたが、東京代表の堀越高校に敗退した。

予選リーグ

一回戦 日吉高校 4 — 1 作新学院
 二回戦 日吉高校 1 — 3 堀越高校

出場選手

片桐正路、森田総典、滝沢緑郎、井上雅行、永岡、山中、辻

本塾対東京大学対抗試合

六月十四日 於 綱町道場

本塾 東大

先鋒 福田 泰 資 優勢 ○荒木
 ○石川 莞 二 支釣込足 荒木
 石川 引分 円城寺

松吉	○松吉	宮本	小寺	堤基	野口	峰岸	辰野	大石	梅田	渡辺	○渡辺	○鈴木	○鈴木	○鈴木	山本	清水	○清水	笠原	長田	山崎	加藤	安藤
	省三	定義	基之	久哉	和志	保夫	幸正	陸平	弘		芳和	木和	木和	木和	茂雄	正敬	正敬	章靖	之孝	信一	藤隆	藤洋
背負投	優勢	引分	体落	引分	小内巻込	背負投	大外返	体落	内股返	内股	大内刈	弘腰	小内刈	合技	引分	引分						
○小峰	○黒沢	○岩田	○大塚	○大塚	○松尾	○川上	○小室	○三好	○三好	○池田	○山本	○山本	○安中	○神房	○神房	○神房	○藤倉	○藤倉	○藤倉	○藤倉	○古村	○矢野

八・九級の部
 進級月次試合 六月二十四日 於 綱町道場
 ○永田 武二郎 合技 小峰
 永田 伸良 優勢 三浦
 ○林 伸良 背負投 三浦
 林 引分 引分 大野
 塚田 正昭 引分 吉村
 佐藤 進 弘腰 ○竹之内
 大外刈 ○竹之内
 大將 森田 浩典 大外刈
 慶応はレギュラー・メンバーではないが、東大に対し
 不戦四人を残してざん敗した。

1 中村 亭 合技 ○古沢 章 良
 2 ○古沢 章 良 袈裟固
 3 古沢 勇 二 背負投 ○岸 勇 二
 4 岸 勇 二 優勢 ○牧 原 伸 一 郎
 5 牧 原 伸 一 郎 大内刈 ○野 島 豊 一 郎
 6 野 島 豊 一 郎 弘腰 ○遠 藤 乙 彦
 7 遠 藤 乙 彦 内股 ○内 海 勝 彦
 8 ○内海 勝彦 合技 渡 辺 和 男
 9 ○内海 袈裟固 山 本 隆
 10 ○内海 優勢 伊 端 嘉 久

五・六・七級の部

1 森 秀 雄 合技 ○宮川 直 治
 2 ○宮川 直 治 袈裟固 佐々木 進
 3 ○宮川 直 治 大外刈 松 葉 直 彦
 4 ○宮川 直 治 袈裟固 渡 辺 弘 二
 5 ○宮川 直 治 足 弘 古 屋 敏 郎
 6 ○宮川 直 治 大外刈 吉 田 真 人
 7 海 野 隆 雄 引分 堀 越 真 人
 8 堀 越 稔 返技 ○菅 原 弘 道
 9 ○菅 原 弘 道 返技 山 本 慧
 10 菅 原 弘 道 引分 金 原 明 彦
 11 金 原 明 彦 引分 海 野 隆 雄
 12 小 林 元 博 引分 井 上 隆 彦
 13 井 上 隆 彦 引分 青 山 哲
 14 青 山 哲 引分 小 林 元 博
 15 青 山 哲 引分 藤 田 一
 16 藤 田 一 大外落 ○山 科 秀 一
 17 山 科 秀 一 引分 牛 場 春 太
 18 牛 場 春 太 引分 岩 崎 清 武
 乙・丙組の部
 1 門 田 浩 体落 ○大 沢 英 昭
 2 ○大 沢 英 昭 優勢 吉 開 義 昭
 3 大 沢 英 昭 引分 岡 松 宏

Aチーム

一回戦	日吉高	4	—	0	川崎高校
二回戦	日吉高	4	—	0	平塚農高
三回戦	日吉高	1	—	4	法政二高

出場選手

片桐正路、森田総典、山中、永岡、滝沢緑郎

Bチーム

一回戦	日吉高	0	—	2	厚木高校
-----	-----	---	---	---	------

出場選手

堀 信孝、望月克己、沢地憲一、金杉 浩、竹本真次
尚、片桐正路、滝沢緑郎は技術優秀選手に選ばれた。

東海・北陸遠征

八月二十五〜二十九日

今年は、早稲田戦に備えて、東海・北陸に相手を求めて、遠征を行なった。遠征の最後は名古屋にとどまり、全愛知の選手との連合稽古を含めてミニ合宿を行い、鍛練を行なった。

対全富山対抗試合

八月二十五日 於 富山練成館

町田勝己	小林浩一	永岡秀昭	林岡伸良	堀藤為義	加藤進典	○森田浩典	○佐藤進仁	○清野義仁	○友田輔伸	岩沢正昭	○塚田武一郎	永田武一郎	高橋彦久	山田氏之	小寺基彦	○山口和彦	宮本定義	○辰野幸正	松吉省三	○野口和志	清水正敬	先鋒
引分	引分	優勢	引分	引分	引分	跳腰	優勢	弘腰	合技	送襟絞	小外刈	袈裟固	引分	優勢	引分	優勢	引分	背負投	内股	体落	足弘	10
池田	○津田	前田	酒井	田中	山田	高見	○石黒	吉田	大山	○北村	石黒	○佐田	大山	○田中	広田	北村	島田	増田	○庄司	竹花	小森	全富山

对全石川県對抗試合

八月二十六日 於 金沢大学道場

本 塾 26 — 4 全石川

先鋒 清水正敬 横四方 先鋒 杉森

○野口和志 大外 素都

○松吉省三 内股 小野

○山田氏久 内股 岩井

○小寺基之 引分 秋山

○宮本定義 足弘 高孝

○辰野幸正 一本背負 山本

○山口和彦 背負投 表川

○高橋彦一郎 体落 芳岡

○熊谷正志 優勢 山地

○音川和三 内股 山地

○新宮松比呂 崩上四方 山地

○柗原孝至 優勢 池田

○爪生長志 引分 前田

○植村健次郎 引分 津田

○阿部智応 優勢 山地

○木村寛 返技 水上

○植村剛太郎 引分 山本

大将 福山浩洋 引分 大将 菊地

大将 福山浩洋 引分 大将

○植村剛太郎 支釣込足 榎木

○木村健次郎 引分 木谷

○植村智次郎 横四方 木山

○阿部和三 釣込腰 原田

○音川和志 大外刈 東保

○爪生長志 優勢 横田

○小林浩一 一本背負 福田

○森田浩典 背負投 加茂谷

○新宮松比呂 足弘 木山

○榑原孝至 後腰 原田

○加藤正志 弘腰 川崎

○熊谷勝己 内股 千味

○町田秀昭 内股 新村

○永岡伸 押込 山田

○林義輔 送襟絞 若木

○友田義輔 大外刈 肥原

○堀為義 跳腰 新村

○佐藤進 背負投 木村

○清野正昭 袈裟固 開田

○塚田正昭 内股 長野

○岩沢伸 大外刈 牧野

○永田武二郎 内股 西

対全岐阜對抗試合

八月二十八日 於 岐阜体育館

本 塾 16 — 7 全岐阜

熊谷正克	町田勝己	永岡秀昭	林野伸良	清野仁	塚田正昭	堀田為義	佐藤進	岩沢伸	永田武二郎	山口和彦	高橋彦二郎	辰野幸正	宮本定義	小寺基之	山田氏久	松吉省三	野口和志	清水正敬
引分	釣込腰	引分	引分	縦四方	大内刈	崩上四方	優勢	袈裟固	大外刈	優勢	引分	優勢	引分	大外刈	引分	崩上四方	跳腰	横四方
松岡	古田	兼松	井沢	加藤	長谷部	岩佐	上野	村瀬	堀川	橋本	掛野	和田	武藤	松浦	種田	北洞	藤井	日下部

対全愛知對抗試合

八月二十九日 於 愛知県スポーツセンター

本 塾 10 — 12 全愛知

宮本定義	小寺基之	辰野幸正	松吉省三	野口和志	清水正敬	先鋒	植村健次郎	木村寛	植村剛太郎	福山浩洋	大将	阿部智応	爪生長志	音川和三	小林浩一	森田浩典	友田義輔	新宮松比呂	加藤孝進	禰原孝至
崩上四方	弘腰	優勢	優勢	優勢	先鋒	先鋒	引分	大外刈	崩上四方	上四方	大将	引分	引分	釣込腰	内股	合技	大外刈	背負投	優勢	合技
吉留(中京)	佐久間(三菱)	大鹿(三菱)	牧野(三菱)	大陽(東レ)	野口(三菱)	先鋒	石間	深川	吉田	山際	佐藤	後藤	佐藤	山田	兼松	松岡	吉田	兼松	加藤	橋本

五・六級・丙組の部

14 ○岩崎清武
 13 山科
 12 ○山科
 11 井上
 10 青山弘道
 9 菅原元博
 8 小森秀男
 7 森秀男
 6 ○森秀男
 5 宮川直治
 4 吉田真人
 3 加藤
 2 ○加藤
 1 金原明彦
 19 松葉直彦
 18 遠藤乙彦
 17 渡辺弘二
 16 田口澄夫
 15 古屋敏郎
 14 藤岡俊夫
 13 山田
 12 ○山田

合技 背負投 合技 跳腰 引分 袈裟固 合技 引分 合技 引分 合技 肩固 大外刈 弘腰 引分 袈裟固 引分 引分 袈裟固 合技 袈裟固 袈裟固

太田誠一
 岩崎清武
 牛場春夫
 山科誠
 井上誠
 青山哲
 菅原弘道
 小森元博
 藤田秀一
 森秀男
 宮川直治
 吉田真人
 内海勝彦
 加藤陽
 関根正和
 松葉直彦
 遠藤乙彦
 渡辺弘二
 田口澄夫
 古屋敏郎
 藤岡俊夫
 野島豊一郎

三・四級、甲・乙組の部

11 ○金杉
 10 ○金杉
 9 ○金杉
 8 ○金杉
 7 浜浩
 6 関郁夫
 5 菅正夫
 4 菅明男
 3 田中敏正
 2 腰原正
 1 ○中山祺郎
 25 土佐和夫
 24 三枝靖和
 23 木曾輝夫
 22 香川正英
 21 太田進
 20 高橋伸彦
 19 宮田恒男
 18 福井勝也
 17 岩崎
 16 ○岩崎
 15 ○岩崎

袈裟固 弘腰 合技 弘腰 送襟絞 引分 引分 引分 横四方 優勢 背負投 引分 引分 優勢 袈裟固 上四方 合技 引分 上四方 引分 合技 体落

○水野善弘
 秋元明
 櫛田良平
 大沢英昭
 ○金杉浩
 浜桂
 関郁夫
 菅正夫
 菅明男
 ○田中原正昇
 ○腰原敏正
 山井
 永井正司
 土佐和夫
 三枝靖和
 ○木曾輝夫
 ○香川正典
 ○太田進
 高橋伸彦
 ○宮田恒男
 福井勝也
 吉開義昭
 好田保孝

本塾対日本体育大学对抗試合

十月十一日 於 綱町道場

○高橋	○高橋	清水	宮本	○宮本	○大石	○大石	○鈴木	先鋒	本塾	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12
優勢	崩上四方	一本背負	引分	袈裟固	優勢	大外刈	巴投	先鋒	大上祥彦	大島幸昌	横内憲一	○横内	大滝亮太郎	奈良間力	辻村篤三	伊東誠	水野善弘	水野善弘	○水野
小林	大塚	○大塚	桐村	橘川	○橘川	内橋	○内橋	日体大	○高橋	大上祥彦	○島田	森田	横内憲一	大滝亮太郎	奈良間力	○辻村	○伊東	山村	山村
									克彦	祥彦	幸昌	亘一				篤三	誠	合技	合技

永岡	○永岡	清野	林伸	関根隆	加藤進	町田	○町田	○町田	○町田	田村	熊谷	○熊谷	○塚田	○塚田	山田	永田	古森	野口	○野口	○辰野	○高橋	
秀昭	仁昭	良昭	伸良	隆範	進	田	勝己	純三	返股	内股	引分	優勢	引分	引分	引分	引分	引分	引分	大内刈	内股透	小外刈	優勢
藤	○藤	○藤	中藤	山本	○山本	金谷	益坂	北村	綾重	福重	○福重	塚田	小田	中村	柏原	鳥吉	宇土	吉村	森口	○森口	北野	○北野

九級の部

8 高橋哲 7 増保憲 6 小林寛 5 小林寛 4 対岸夫 3 対岸隆 2 大家甲 1 高木秀敏

引分 優勢 袈裟固 合技 引分 合技 引分 大外返

中村亭 高橋哲 増保憲 加賀保雄 小林寛 山内博春 村岸隆太 大甲一

進級月次試合

十月十四日 於 綱町道場

大將 阿部智応 音川和 音川孝三 榑原義輔 友田浩一 小林浩典 新宮松比呂 爪生志進 〇爪生志進 佐藤進

優勢 大外刈 優勢 棄権 引分 引分 引分 引分 引分 背負投 内股

坂梨 坂梨 片寄 片寄 白土 西川 小西 安達 金子 齋藤 〇齋藤

五、

六、七級の部

12 〇宮川 11 〇宮川 10 〇宮川 9 森直治 8 〇森秀雄 7 松葉彦 6 田口澄夫 5 〇田口澄夫 4 佐々木進 3 山本隆 2 渡辺弘二 1 田口澄夫

支釣込足 優勢 袈裟固 合技 大内刈 引分 引分 合技 縦四方 支釣込足 引分 引分

加藤陽 金原明彦 内海勝彦 〇宮川直治 古屋敏郎 森秀雄 松葉彦 関根正和 〇田口澄夫 〇佐々木進 山本隆 渡辺弘二

18 渡辺和男 17 稲田新 16 〇稲田新 15 古沢良 14 岸章 13 〇岸勇二 12 山田文治 11 山本敏夫 10 市古博一 9 中村亭

大外返 優勢 優勢 引分 内股 大外刈 引分 袈裟固 優勢 引分

〇伊端嘉久 〇渡辺和男 人見亨 〇稲田新 古沢良 野島豊一郎 〇岸勇二 〇山田文治 〇山本敏夫 市古博一

第十三回全日本東西学生柔道對抗試合 兼全日本学生柔道選手権大会

十一月四日 五日 於 大阪府立体育館

本塾より福山浩洋(4)、植村剛太郎(4)、植村健次郎(4)が選ばれ出場した。

個人戦

一回戦

○福山 浩洋 不戦

○植村 剛太郎 不戦

○植村 健次郎 抽選 市岡(3)(天理大)

二回戦

○福山 浩洋 合技

○植村 剛太郎 大内刈 松村(3)(立命館)

○植村 健次郎 体落 国定(2)(岡山大)

三回戦

○福山 浩洋 優勢 木下(3)(大阪工大)

○植村 剛太郎 優勢 田中(4)(明大)

植村 健次郎 大内返 高田(4)(明大)

四回戦

福山 浩洋 抽選 ○真田(3)(天理大)

秋季大会

十一月十二日 於 日吉道場

招待試合

本塾

初段の部

佐藤 忠 優勢 三好(東大)

福田 泰資 引分 橘川(日体大)

二段の部

大石 陸平 引分 釘宮(教大)

清水 正敬 足払 ○吉田(中大)

宮本 定義 優勢 ○大塚(東大)

高橋 彦一郎 引分 福田(教大)

鈴木 忠和 引分 土井(早大)

辰野 幸正 引分 梅津(東洋大)

○野口 和志 優勢 金谷(日体大)

○永田 武二郎 大外刈 岡田(中大)

三段の部

清野 仁 絞技 ○松尾(中大)

爪生 長志 払腰 ○前田(東洋大)

森田 浩典 引分 高松(日大)

友田 義輔 釣込腰 ○菅原(明大)

招待選手

四段の部

植村剛太郎	阿部智応	植村健次郎	木村寛	○新宮松比呂	林伸良	○熊谷正志	塚田正昭
引分	引分	引分	つばめ返	横四方	引分	大外刈	優勢
片桐(拓大)	東川(日大)	石原(明大)	○松尾(中大)	百歩(早大)	北井(教大)	樋口(拓大)	○春本(中大)

本塾対法政大学对抗試合

十一月十五日 於 日吉道場

清水正敬	清水和志	野口和志	野口和志	宮本定義	大石陸平	高橋彦二郎	辰野幸正	清野仁
優勢	内股	横四方	引分	引分	引分	引分	引分	引分
中田	○福井	福井	高橋	佐藤(勇)	鈴木野	角屋	岡部	林

○福山浩洋	木村寛	阿部智応	○阿部智	爪生志	新宮松比呂	音川和三	小林浩一	○小林浩一	友田	○友田	○友田	関根隆範	森田浩典	町田勝己	永岡秀昭	田村純三	永田武一郎	熊谷正志	○熊谷正志	林政宏	塚田正昭	○塚田正昭
背負投	引分	引分	崩上四方	引分	逆技	引分	引分	足弘	大外刈	弘巻込	縦四方	巴投	引分	大外刈	大外刈	引分	引分	引分	優勢	優勢	引分	優勢
大山	大島	青井	田代	佐藤	○佐藤	笠原	中島	荒木	○荒木	葛島	網倉	○網倉	太田	○太田	○太田	安藤	佐藤	谷根	○関根	○関根	佐藤(直)	小泉

優秀選手

本 塾
早 稲 田 福山浩洋
市原英喜 榎原孝至
淀谷隆弘 友田義輔
平井信之

大将 吉 村剛太郎(4)
